

特集

# 新しい「地域おこし協力隊員」を紹介します！



## 地域おこし協力隊とは？

各自治体が、都市部から人材を受け入れ、新しい視点・発想により、地域に活力を与えるとともに、定住・定着につなげることを目的とする総務省の制度です。

最大3年の任期の中で、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行います。

3人の新しい隊員が着任！

7月1日、新たに3人の地域おこし協力隊員が町にやってきました。これにより、現在は総勢4名の隊員が、地域活性化のため、また、定住・定着を目指して活動することになります。

7月3日、3人の新しい隊員は、平山町長を訪問し、協力隊に応募した経緯や今後の取り組みたい活動を報告しました。

大学の職員として働いていた昨年、那須町を観光で訪れ、東北からのアクセスが良く、自然豊かで魅力的なお店がたくさんあり、とても素敵な町だと感じました。「この場所で働きたいからスローライフを送りたい！」と思う反面、車を走らせると空き家や空き店舗が所々にあり「もったいないな」と感じていたところで、今回の募集を知り応募しました。

私の活動分野は「空き家対策」で、主に空き家バンクの運営に従事します。また、町内にある空き家を活用して、地域のコミュニティとなる場所づくりや、古民家を改修して移住したくなるような環境を整備するなど、空き家を生かした移住定住の促進にも挑戦し、後継者不足の解消などにも取り組みたいと考えています。



活動分野：空き家対策

町民の皆さんにひびくこと！

那須町の空き家問題を一つでも多く解決できるよう、日々走り回りたいです！

町民の皆さんにもご協力いただきながら、那須町をより良い町にしていきたいと考えていますので、よろしく願います。



那須じゃがいも祭りに行って、かき水自転車をこいできました！